

研究課題名	帝王切開時の子宮筋層縫合における有棘縫合糸（barbed suture）の有用性についての検討
研究の意義・目的	本研究は大阪公立大学が中心となって行う研究です。帝王切開の際、子宮筋層を縫合する際に当院では有棘縫合糸という結紮（糸を結ぶこと）の必要がない吸収糸を使用しています。今まで当院で行った帝王切開の診療情報を用いて、有棘縫合糸の帝王切開における有用性（手術時間の短縮や術後合併症の減少など）を検討することが目的です。
研究を行う期間	研究機関の長の実施許可後から2024年10月
研究協力をお願いしたい方（対象者）	2018年10月～2020年12月に大阪公立大学医学部附属病院の女性診療科で、入院中に帝王切開術を受けた方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報等：【年齢、BMI（ボディ・マス・インデックス）、妊娠出産歴、分娩週数、診断名、合併症、白血球数、CRP（術後1日目、5日目）、麻酔方法、手術時間、出血量、術後合併症】
試料・情報の他機関への提供	この研究は大阪公立大学医学部附属病院女性診療科のみで行い、他の機関に情報は提供いたしません。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は大阪公立大学医学部附属病院女性診療科のみで行います。
試料・情報を管理する責任者	大阪公立大学大学院医学研究科 女性生涯医学 研究責任者 北田 紘平
本研究の利益相反	利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪公立大学大学院医学研究科 女性生涯医学 （担当者氏名）北田 紘平 電話番号：06-6645-3862 メールアドレス：kkitada@omu.ac.jp